

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikogyo.co.jp  
年額8,800円(税込送料込)



# 若者の来場を促進

## 東管機商 設備展へ出品者会議

東京管工機材商業協同組合(向山英雄理事長)は5月8日、東京・港区の明治記念館で第55回管工機材・設備総合展の出品者会議を盛大に開催した。158社346小間と過去最多の小間数が確定したことを踏まえ、向山理事長は未来を担う若者の来場促進へ全力で取り組んでいくと強調。ユーチューブによる史上初の動画配信や人気アイドルグループAKB48メンバーの登場などを通じて約1万5000名の最大動員をめざす。(3面に出版一覽を掲載)

## 初の動画配信・AKB48登場

今回の管工機材・設備総合展は「未来へつなげよう 自然と技術をつなぐ」



向山理事長



斎藤実行委員長



明治記念館に約190名参集



ユーチューブチャンネル開設

設備展をテーマに7月25日から27日までの3日間、江東区の東京ビッグサイトで開催する。新型コロナウイルス感染症拡大による中断を乗り越え、創意工夫を凝らした多彩な企画で業界活性化へ邁進する。当日の出品者会議にはメーカー・商社関係者など186名が出席。出品者委員長を務める渋谷宏明副理事長の司会で向

山理事長が冒頭あいさつに立ち「管工機材・設備総合展は昭和42年の第1回から今回で55回目を迎える。当組合が主催する第53回はコロナ禍で中止となったが、満を持して実施する。今回のテーマである未来につながる取り組みとして新たな方向性を打ち出した。多くの若者が設備展を通じて業界への理解を深めるよう多彩な企画を準備した。当組合が新たに立ち上げたユーチューブチャンネルで組合活動の情報発信を行っているが、設備展の出展内容や見どころについてもわかりやすく紹介していく。次代を担う人材の確保が年々難しくなっていることから、動画配信などを通じて若者の来場を促進し、業界への関心が増えることを期待している」と述べ、積極的な協力を要請した。続いて設備展実行委員長の斎藤実行委員長が総括説明を行い「コロナ禍により東京ビッグサイ

トでの開催は6年ぶりに立ち「管工機材・設備総合展は昭和42年の第1回から今回で55回目を迎える。当組合が主催する第53回はコロナ禍で中止となったが、満を持して実施する。今回のテーマである未来につながる取り組みとして新たな方向性を打ち出した。多くの若者が設備展を通じて業界への理解を深めるよう多彩な企画を準備した。当組合が新たに立ち上げたユーチューブチャンネルで組合活動の情報発信を行っているが、設備展の出展内容や見どころについてもわかりやすく紹介していく。次代を担う人材の確保が年々難しくなっていることから、動画配信などを通じて若者の来場を促進し、業界への関心が増えることを期待している」と述べ、積極的な協力を要請した。続いて設備展実行委員長の斎藤実行委員長が総括説明を行い「コロナ禍により東京ビッグサイ

## 地域住民・民間企業を拡大

### 国交省 流域治水の主体的な展開へ

国土交通省は4月28日、東京・霞が関の中央合同庁舎3号館で第1回「水害リスクを自分事化自分事化検討会」(委員

長・小池俊雄土木研究所長・水害・リスクマネジメント国際センター長)を開催した。水害に対する治水の取り組みを進め

る。しかし流域治水の認知度は依然として低く多くの死傷者が発生しているのが実情だ。

このため国交省は流域治水に関連する自治体や有識者、民間企業などで検討会を設置。命を守り、被害を最小化する持続的・効果的な取り組みを推進する。

初会合では岡村次郎水管理・国土保全局長が冒頭あいさつに立ち「水害対策を盤石なものにするにはすべての国民に流域治水に関心を寄せてもらうことが重要だ。個人・

企業がそれぞれ何をすべきか理解し、被害を最小限に抑える備えをお願いしたい」と述べ、活発な意見交換を呼びかけた。また小池委員長が「気候変動で洪水被害が増大している。流域治水を国民運動として展開していく」と意欲を示した。

このあと各地域の先進的事例を紹介し、防災教育・人材育成・地域連携などの論点を整理した。



岡村局長



小池委員長

し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会(委員



初会合で活発に意見交換

このため国交省は流域治水に関連する自治体や有識者、民間企業などで検討会を設置。命を守り、被害を最小化する持続的・効果的な取り組みを推進する。

初会合では岡村次郎水管理・国土保全局長が冒頭あいさつに立ち「水害対策を盤石なものにするにはすべての国民に流域治水に関心を寄せてもらうことが重要だ。個人・

企業がそれぞれ何をすべきか理解し、被害を最小限に抑える備えをお願いしたい」と述べ、活発な意見交換を呼びかけた。また小池委員長が「気候変動で洪水被害が増大している。流域治水を国民運動として展開していく」と意欲を示した。

このあと各地域の先進的事例を紹介し、防災教育・人材育成・地域連携などの論点を整理した。

省施工  
省人化



「最速の施工」動画

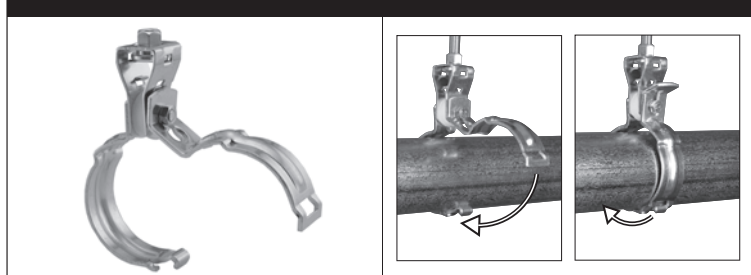


GOOD DESIGN AWARD  
2022年度受賞

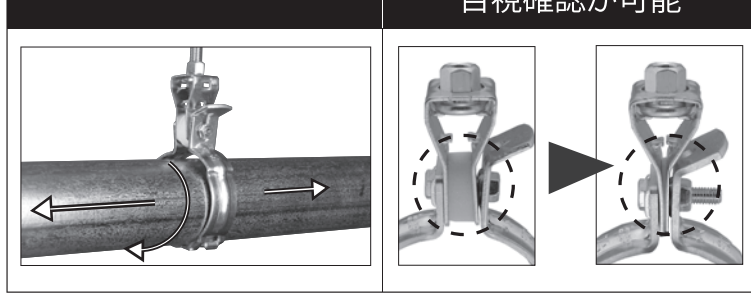
GOOD DESIGN 賞でも大きな評価を得られた、従来品と「らく吊X」の施工時間の比較動画をぜひご覧ください。

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

ナットを外さなくても取付けできます  
パイプの支え作業ゼロ



パイプの可動が容易  
ナットの締め忘れ防止  
目視確認が可能



お問合せ: 日栄インテック株式会社

日栄インテック 検索

ひとつの金具がすべてを変える

NICHIEI INTEC

らく吊X